



機械器具25 医療用鏡
一般医療機器 内視鏡用軟性把持鉗子 35524000

レスキュー ディスポーザブル把持鉗子 呼吸器用

再使用禁止

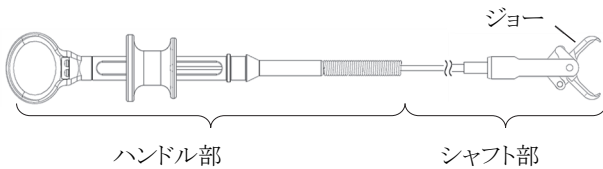
【禁忌・禁止】

1.使用方法

- (1) 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

レスキュー ディスポーザブル把持鉗子 呼吸器用(以下、本品という)は、シャフト部及びハンドル部から構成されている。ハンドル部を操作することによりシャフト部先端にあるジョーが開閉し、組織又は異物を把持及び回収することができる。



最小適合チャンネル径:2.0mm

<主な原材料>

ポリエチレン、ステンレス鋼

【使用目的又は効果】

本品は、経内視鏡的に気道及び気管支内の異物又は組織を回収するときに用いる。

【使用方法等】

1.使用方法

- (1) 15～20 cmの三重ループを形成してジョーを数回開閉し、適切に動くことを確認する。
- (2) ジョーを閉じた状態で、本品を気管支鏡のワーキングチャンネルに挿入する。キンクしないよう少しずつ挿入する。
- (3) 内視鏡の屈曲部で抵抗を感じた場合、本品が滑らかに通過できるまで屈曲角度を少し緩める。気管支鏡を損傷するおそれがあるので、本品を屈曲した気管支鏡内に無理に押し込まないこと。
- (4) 対象物を把持するため、内視鏡画像で確認しながらジョーをゆっくりと開く。本品を対象物まで進め、ジョーをゆっくりと閉じる。
- (5) 把持操作が終了したら、ジョーをしっかりと閉じた状態で、本品を気管支鏡からゆっくりと引き抜く。
- (6) ジョーの中に把持回収物が残り、ジョーが完全に閉じない場合、本品を気管支鏡から無理に引き抜こうとしないこと。本品と気管支鏡を一緒に引き抜き、ジョーから把持回収物を取り出す。ジョーを閉じ、本品を内視鏡から引き抜く。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- (1) 本品が破損するおそれがあるため、過度な力を加えてジョーを閉じないこと。

【使用上の注意】

1.不具合・有害事象

- (1) その他の不具合
 - ① 機器の破損
- (2) その他の有害事象
 - ① 組織損傷
 - ② 穿孔
 - ③ 出血
 - ④ 感染症

【保管方法及び有効期間等】

1.保管方法

高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

2.有効期間

2年

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者:

ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社

電話番号:03-6853-1000

製造業者:

中国 アンレイ・メディカル(HZ)社

[Anrei Medical (HZ) Co., Ltd.]